

佐世保工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	国際関係論	
科目基礎情報							
科目番号	0093		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	物質工学科		対象学年		4		
開設期	前期		週時間数		前期:2		
教科書/教材	ライブ！2022 公共、現代社会を考える（帝国書院）						
担当教員	滝 知則						
到達目標							
到達目標 1 国際関係のしくみと国内政治のしくみがどう異なるかを、理解する。（B-1）							
到達目標 2 国際関係の主要アクターと主な課題を、理解する。（B-1）							
到達目標 3 各国が国際関係の課題にどのように取り組んできたかを、理解する。（B-1）							
到達目標 4 21世紀前半の国際関係についての課題を、理解する。（B-1）							
到達目標 5 自分が今後注目していく国際関係の課題を、見つける。（B-1）							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 到達目標1			到達目標1を達成できている	到達目標1をある程度達成できている		到達目標1を達成できていない	
評価項目2 到達目標2,3,4			到達目標2,3,4を達成できている	到達目標2,3,4をある程度達成できている		到達目標2,3,4を達成できていない	
評価項目3 到達目標5			到達目標5を達成できている	到達目標5をある程度達成できている		到達目標5を達成できていない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 B-1 JABEE a							
教育方法等							
概要	①利益実現に向けた過程における、国内政治と国際関係の性質の違いを理解する。 ②国際関係の主な課題を理解する。 ③各国が、国際関係の課題にどのように取り組むかを理解する。						
授業の進め方・方法	講義（一部、ビデオ視聴を含む）、学生による発表（一人一回5分程度、1週につき4人程度）						
注意点	第2週から第12週では、授業内容に関する予習結果の報告を、交代で行う。復習課題の提出を、各受講者に求める（第1回～第15回）。予習結果報告の実施、復習課題の提出とグループワークの実施（第13週、第14週）を、平常点としてカウントする。 自己学習の指針：国際関係における課題に関する報道に注目し、第2週から第12週での発表、ならびにグループワークの材料とすること。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	イントロダクション		この科目の目的、到達目標と授業の進め方を理解する。		
		2週	1. 国際社会における国家 (pp. 133-135)		国際関係の主要アクターは何か、アクターどうしを規制するものは何かを理解する。		
		3週	2. 日本の主権と領土 (pp. 137-140)		日本の領域はどこか、領土をめぐる動きを理解する。		
		4週	3. 平和主義と日本の安全保障 (pp. 141-146)		国際関係の主要課題は何か、その課題に20世紀後半以降の日本がどう取り組んできたかを理解する。		
		5週	4. 国連の役割と課題 (pp. 151-157)		国連が果たす二つの役割を理解する。		
		6週	5. 戦後の国際情勢と現代の紛争 (pp. 158-163)		20世紀後半以降の国際紛争の種類と、どこで起きた（起きている）かを理解する。		
		7週	6. 核兵器と軍拡 (pp. 170-172)		核兵器の制限と廃絶に向けた動きを理解する。		
		8週	7. 世界的な人権保障の動きと国際協力 (pp. 175-176)		国連とNGOは、どのように国際関係に貢献しているかを理解する。		
	2ndQ	9週	8. 国際経済の枠組み (pp. 260-263)		国家どうしの協力がどのような側面で行われているかを理解する。		
		10週	9. 地域経済統合 (pp. 264-267)		国家の行動の中で、国境を低くしようとする側面は何かを理解する。		
		11週	10. 国際経済の変化と課題 (pp. 268-272)		20世紀後半以降の国際関係における、先進国と発展途上国の経済関係の変化を理解する。		
		12週	11. 経済格差の是正 (pp. 275-278)		発展途上国に対する先進国の支援の意義を理解する。		
		13週	グループワーク（その1）		テーマその1について調べた結果のグループでの報告と、質疑応答を行う。		
		14週	グループワーク（その2）		テーマその2について調べた結果のグループでの報告と、質疑応答を行う。		
		15週	ふりかえりとまとめ		この科目での学修内容を確認したうえで、自分は国際関係のどの側面に注目していくかを確認する。		
		16週					
評価割合							
		試験		発表及び評価		合計	
総合評価割合		50		50		100	
基礎的能力		50		50		100	

專門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0